



◆今号は進研模試について考えてみようと思います。本日から国公立大学の前期試験が始まり、3年次生は北は北海道から南は沖縄まで合格の栄冠を勝ち取るために全国に出掛けています。本校は学習の達成度や定着度を測定したり、学習面での自分の課題を発見したり、全国の中での自分の立ち位置(現在地)を知るために進研模試を活用しています。言ってみれば進研模試を学力のペースメーカーとして活用しているわけです。1月19日に1・2年次生は進研模試を受験しました。その結果は電子データや紙媒体(個人成績票)などで確認していることと思います。実は進研模試は受験する年次や時期によって違いがあるのです。それを踏まえた上で自己の結果を分析し、自らの進路選択や課題解決に向かって欲しいと思います。

■2年次生へ 1月進研模試はこれまでとは“別物”だった。

下の表を見てください。進研模試について、これまでとこれからの名称、英数国の配点と時間、受験者数(昨年度のもの)をまとめたものです。先月、2年次生の皆さんが受験した1月進研模試からその内容ががらりと変化していることに気づくと思います。模擬試験というからには、センター試験本番や国公立大学二次試験、私大入試と同様の配点、時間が理想です。ところが、進研模試と私たちが呼んでいる中で本当の意味で模試と呼べるのは、実は2年1月進研模試からなのです。1月進研模試の問題冊子をもう一度手に取り、確認してください。これまでであった基礎問題はなくなり、応用力や入試対応度を問う設問が増えていることに気づきます。3年次に進級してから受ける進研模試こそが“進研模試”なのです。入試本番まで10か月。目標を見据えて取り組むべき時期がきています。「受験生」としての第一歩もすでに踏み出しています。3月は卒業式や高校入試などがあり、学校の授業時間数は少なくなり、自宅学習日も増えます。より遠くへ、より高く跳ぶためには十分な助走が必要です。この春こそ、真の受験生になるための助走期間と位置づけ、模擬試験の解き直しや振り返りを十分に行うなど、学習時間を増やして“受験”に本格参戦して欲しい。3年次に良いスタートを切るためにも皆さんの本当の力が試されます。

	名称	英語	数学	国語	受験者数
1年7月	総合学力テスト	100点(60分)	100点(80分)	100点(60分)	46.5万人
11月	総合学力テスト	100点(80分)	100点(100分)	100点(80分)	48.0
1月	総合学力テスト	100点(80分)	100点(100分)	100点(80分)	47.7
2年7月	総合学力テスト	100点(80分)	100点(100分)	100点(80分)	46.9
※11月	総合学力テスト	100点(80分)	100点(100分)	100点(80分)	47.6
★1月	総合学力記述模試	200点(90分)	200点(120分)	200点(90分)	43.2
3年6月	総合学力マーク模試	250点(110分)	200点(120分)	200点(80分)	44.8
7月	総合学力記述模試	200点(100分)	200点(120分)	200点(100分)	36.2
9月	総合学力マーク模試 [駿台共催]	250点(110分)	200点(120分)	200点(80分)	42.4
10月	駿台共催記述模試	200点(100分)	200点(120分)	200点(100分)	35.0
11月	総合学力マーク模試 [駿台共催]	250点(110分)	200点(120分)	200点(80分)	31.0
1月	センター試験本番	250点(110分)	200点(120分)	200点(80分)	55.4

※2年11月から理科・地歴公民が加わり5教科となる。

(裏面へ)

●2年1月から進研模試のココが変わった

- ①名称が変わった……テストから模試へ。進研模試の中での位置づけは「本格的な模擬試験」へ。
- ②配点, 時間が変わった……配点: 英数国は従来の2倍に。時間: 本番のセンター試験と同様に。
- ③設問が変わった。
 - ・英語……入試に向けて, 英文素材の抽象度が上がる。記述量も増える。
 - ・数学……小問集合がなくなり, 全問記述式に。入試に向けて重要内容も出題される。
 - ・国語……記述量が増え, これまでの進研模試よりも入試対応度が上がる。

●将来への動き出しは早ければ早い方が良い。進路室をどんどん活用しよう!!

先日, 進路室に2年生が『2019年度センター試験過去問題集』を貸出して欲しいとやってきた。今年度の書籍のため(2018年度以前のみまでは貸出可), それはできない旨を伝えると, 『2019駿台センター実戦問題集・数学ⅡB』のあるページをコピーしたいと申し出た。数学ⅠAは自ら購入して解ききったという。東北大を目標に掲げ, 計画的に学習を進めている様子がうかがえた。将来への動き出しは早ければ早い方が良い。3月はこれまでの3年生から2年生に進路室への来訪者の主役が入れ替わる時期である。2年次生の皆さんには, 進路志望実現や進路情報収集のために積極的に進路室に足を運んで欲しいと思います。

■1年次生へ 1月進研模試 3教科総合 平均点偏差値 55.3 ▲ 1.9ポイント(11月比)

前回11月の3教科総合平均点偏差値53.4に比べ, 1.9ポイントのアップです。1年次生の皆さん, よく頑張りました。12月に行った中テスト(前回11月模試の振り返りチェック)の成果が出たといえそうです。過去3回の推移では, 7月54.6 → 11月53.4 → 1月55.3 と, 今回が最も高いことがわかります。平均偏差値55以上をクリアできたことは喜ばしいことです。一方で, 偏差値50未満の60名は心配です。これからの奮起を期待します。1月模試は「高1学習範囲での国数英の定着度」を全国規模で測り, 高2の目標設定に生かすものです。すでに定期考査Ⅳ後の2月9日から2年生0学期の意識で学校生活を送っていることと思います。各自, 国数英3教科のバランスがとれているか, 補強はどの教科のどの分野にするのか, 高1学力のヌケ・モレはないか, これらをしっかり見極め, 2年次になるまでに英数国3教科の確かな基礎固めをして欲しいと思います。次回の進研模試は半年後の2年7月です。1年から2年に年次をまたいでも勉強の質を落とさず, 成績も下げず, 国数英3教科偏差値55以上をキープしましょう。

右図は, 縦軸に1月の国数英3教科総合の偏差値, 横軸に11月の国数英3教科総合の偏差値をとり, 当該人数をクロスさせて示したものです(単位: 人)。11月に偏差値50~55であった119名のうち, 網掛けの57名は1月も同じ偏差値帯, 斜体の14名は1月では偏差値を5ポイント程度下げ, ゴシック体の39名は5ポイント程度上げ, 同8名は10ポイント程度上げ, 同1名は15ポイント程度上げたことを示している。312人中, 11月に比べて1月に成績を落とした生徒は47名, 同程度は129名, 上げた生徒は136名で, 全体として健闘し望ましい傾向にあるといえます。

11月	35	40	45	50	55	60	65	70
75~80								1
70~75							2	1
65~70				1	6	3	5	
60~65	1		1	8	27	9	3	
55~60			2	15	39	27	6	
50~55			2	19	57	17	2	
45~50			1	9	22	14	3	
40~45				7	2			
35~40				1				

11月

